

株主メモ

証券コード 4951

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

剰余金の配当 剰余金の配当は毎年3月31日現在の株主に、また中間配当を支払う場合は毎年9月30日現在の株主にそれぞれお支払いいたします。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先
お問合せ先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

単元株式数 100株

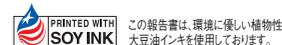
第61期(中間)

ひよこ Report

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで



〒161-8540 東京都新宿区下落合1-4-10
TEL. 03-5906-0731



連結

	第58期 (通 期)	第59期 (通 期)	第60期 (通 期)	第61期 (当中間期)
売 上 高 (百万円)	44,109	46,134	45,227	22,814
経 常 利 益 (百万円)	3,260	2,640	3,070	2,007
当 期 (中 間) 純 利 益 (百万円)	1,823	987	1,746	932
純 資 産 (百万円)	27,449	27,860	24,648	25,101
総 資 産 (百万円)	36,959	37,905	33,829	35,039
1株当たり当期(中間)純利益金額 (円)	63.43	34.35	65.10	36.15

単体

	第58期 (通 期)	第59期 (通 期)	第60期 (通 期)	第61期 (当中間期)
売 上 高 (百万円)	42,396	44,331	43,201	22,037
経 常 利 益 (百万円)	2,586	1,822	2,196	1,770
当 期 (中 間) 純 利 益 (百万円)	1,520	687	1,310	858
純 資 産 (百万円)	26,284	26,334	22,112	22,474
総 資 産 (百万円)	34,808	35,372	30,802	31,877
1株当たり当期(中間)純利益金額 (円)	52.91	23.91	48.85	33.27



取締役兼代表執行役社長

小林 寛三

第二に、衣類ケア（防虫剤）部門、サーモケア（カイロ）部門においては、長引く残暑の影響を受け、販売シーズンが10月以降にずれ込み、減収を強いられました。

第三に、原油価格のさらなる高騰により、コストアップの波が押し寄せてきており、資材価格上昇の影響が出てきております。

第四に、当社の重点課題であるグローバル戦略は、今春よりスタートしました韓国事業が本格展開し、順調に推移しております。

第五に、株主の皆様への一層の利益還元と機動的且つ長期的視点よりの資本政策を可能とするため、自己株式の公開買付けを行い、当中間期末後に400万株（約60億円）を取得いたしました。

〈今後の方向〉

2007年4月より新体制をスタートし、8月からは社名を「エステー化学株式会社」から「エステー株式会社」へと変更いたしました。私は、創業60周年を機に、さらなる成長と変革を行い、激変している世の中で当社が勝ち抜いていくために、この新体制・新会社名の下で『“化学”にとらわれない』柔軟な発想とより広い生活領域における“癒しと感動”を提供し続けたいと考えております。

また、当社の利益配分の基本方針は、引き続き、成長力・収益力の向上と企業体質強化のための積極的な投資と並び、株主配当の安定を目指し、今後は業績に連動した配当政策を進めてまいります。今期の配当金につきましては、業績予想ならびに利益配分に関する基本方針を勘案し、前期同様、年22円の配当を計画しております。

株主・投資家の皆様には、一層のご愛顧、ご支援をよろしくお願いいたします。

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

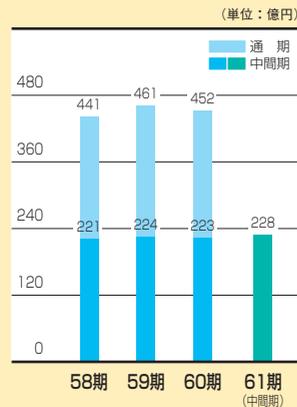
日頃のあたたかいご理解とご支援に厚く御礼申し上げます。

当社の近況ならびに今後の方向につきましてご報告いたします。

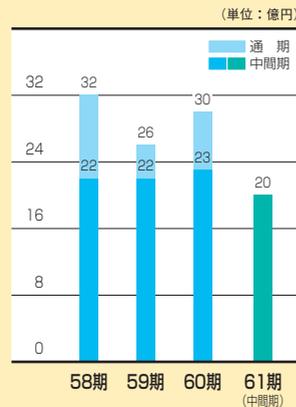
〈当社の近況〉

上期を振り返りますと、第一に、主力のエアケア（消臭芳香剤）市場において、国内外大手トイレタリーメーカーの参入もあり、競争が激化しておりますが、他方でマーケット創造による市場規模の着実な拡大もあり、主力ブランドの『消臭力』や市場創造が期待される『エアウォッシュ』、『消臭プラグ』ブランドが、広告宣伝と店頭販売を連動させた販売促進活動を積極的に展開することで、売上の増加を図ることができました。

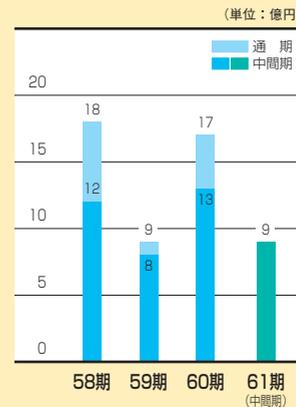
〈連結〉 売上高



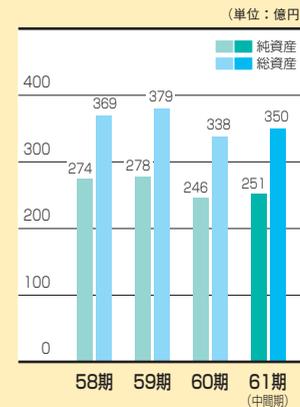
〈連結〉 経常利益



〈連結〉 当期純利益



〈連結〉 純資産・総資産



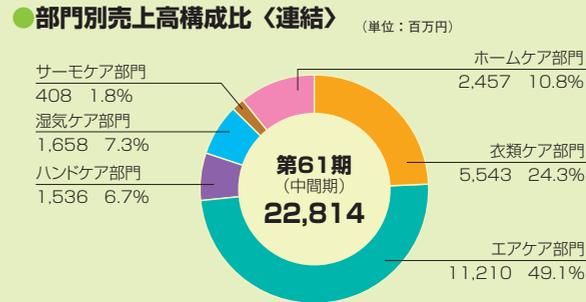
営業の経過および成果

当中間期の連結業績につきましては、エアケア（消臭芳香剤）、ハンドケア（手袋）、ホームケア（その他）が好調に売上を伸ばしたため、長引く残暑の影響を受けた衣類ケア（防虫剤）、サーモケア（カイロ）の売上減少をカバーし、トータルでは増収となりました。

利益面につきましては、資材価格の上昇分を製造部門のコスト削減で完全に吸収できなかったことや、社名変更に関する広告宣伝を中心としたプロモーション費用が増加したことにより減益となりました。

これらの結果、売上高は228億14百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は21億95百万円（前年同期比12.0%減）、経常利益は20億7百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

中間純利益は、9億32百万円（前年同期比29.2%減）となりました。これは、当中間連結会計期間において実施した社名変更に係る支出2億66百万円を特別損失に計上したこと等によるものです。



●衣類ケア（防虫剤）部門〈連結〉

衣類ケア（防虫剤）部門の売上高は、長引く残暑の影響で衣替えの時期が10月以降に大きくずれ込んだことにより、55億43百万円（前年同期比4.6%減）となりました。



●エアケア（消臭芳香剤）部門〈連結〉

エアケア（消臭芳香剤）部門につきましては、『エアウォッシュ』ブランドの新製品「エアウォッシュ収納空間用」「エアウォッシュトイレCUBE」が売上に寄与しました。また、『消臭力』が引き続き売上を伸ばしたことにより112億10百万円（前年同期比5.1%増）となりました。



●ハンドケア（手袋）部門〈連結〉

ハンドケア（手袋）部門の売上高は、業務用のニトリルゴム手袋や薄手ゴム手袋が売上に寄与したほか、海外市場での中厚ビニール手袋の販売も好調だったことにより、15億36百万円（前年同期比6.3%増）となりました。



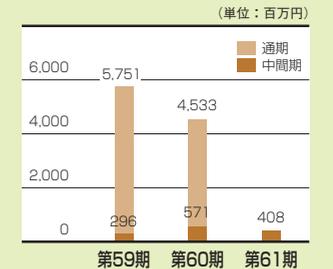
●湿気ケア（除湿剤）部門〈連結〉

湿気ケア（除湿剤）部門につきましては、シートタイプを中心に販売数量が伸び悩んだ結果、16億58百万円（前年同期比6.2%減）となりました。



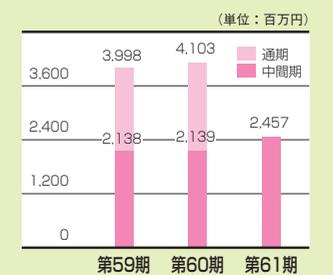
●サーモケア（カイロ）部門〈連結〉

サーモケア（カイロ）部門の売上高は、天候の影響により、前シーズン終了後の返品が当期にずれ込んだことや、当期のシーズンに向けての出足が鈍かったことにより、4億8百万円（前年同期比28.6%減）と減少しました。



●ホームケア（その他）部門〈連結〉

ホームケア（その他）部門の売上高は24億57百万円（前年同期比14.9%増）となりました。新製品の温水洗浄便座ノズルクリーナー「パワーズ ノズルウォッシュ」や、「セルフケア 立体着圧ソックス」が好調に売上を伸ばしたほか、既存商品の「ウルトラパワーズ 洗濯槽クリーナー」なども堅調に売上を伸ばしました。



●連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期末 (平成19年9月30日)	前中間期末 (平成18年9月30日)	前期末 (平成19年3月31日)		当中間期末 (平成19年9月30日)	前中間期末 (平成18年9月30日)	前期末 (平成19年3月31日)
資産の部				負債の部			
流動資産	21,805	22,559	20,289	流動負債	8,278	8,616	7,494
現金及び預金	8,705	7,877	8,135	支払手形及び買掛金	5,008	4,838	3,960
受取手形及び売掛金	6,096	6,866	4,450	未払金	1,719	1,836	1,931
有価証券	1,222	2,566	2,229	その他	1,550	1,940	1,602
たな卸資産	5,101	4,447	4,646	固定負債	1,659	1,637	1,686
繰延税金資産	390	398	385	退職給付引当金	1,200	1,152	1,207
その他	302	421	455	役員退職慰労引当金	77	104	97
貸倒引当金	△ 14	△ 18	△ 14	再評価に係る繰延税金負債	380	380	380
固定資産	13,234	12,990	13,540	その他	1	—	1
有形固定資産	7,324	7,423	7,370	負債合計	9,938	10,253	9,180
建物及び構築物	2,429	2,530	2,468	純資産の部			
土地	3,423	3,265	3,412	株主資本	24,753	24,846	24,100
その他	1,470	1,627	1,489	資本金	7,065	7,065	7,065
無形固定資産	440	431	470	資本剰余金	7,067	7,067	7,067
投資その他の資産	5,469	5,135	5,699	利益剰余金	15,764	15,266	15,120
投資有価証券	3,651	3,538	3,989	自己株式	△ 5,144	△ 4,553	△ 5,152
繰延税金資産	302	103	205	評価・換算差額等	△ 152	△ 24	19
その他	1,535	1,513	1,524	その他有価証券評価差額金	587	815	811
貸倒引当金	△ 19	△ 19	△ 19	土地再評価差額金	△ 548	△ 548	△ 548
資産合計	35,039	35,549	33,829	為替換算調整勘定	△ 191	△ 291	△ 242
				新株予約権	15	1	7
				少数株主持分	486	472	520
				純資産合計	25,101	25,296	24,648
				負債及び純資産合計	35,039	35,549	33,829

●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売上高	22,814	22,399	45,227
売上原価	12,137	11,645	25,242
売上総利益	10,676	10,753	19,984
販売費及び一般管理費	8,481	8,258	16,641
営業利益	2,195	2,495	3,342
営業外収益	322	299	681
営業外費用	509	469	952
経常利益	2,007	2,324	3,070
特別利益	0	5	9
特別損失	285	19	41
税金等調整前中間(当期)純利益	1,722	2,310	3,039
法人税、住民税及び事業税	743	1,002	1,266
法人税等調整額	31	△ 45	△ 32
少数株主利益	14	36	58
中間(当期)純利益	932	1,317	1,746

POINT
当中間期の売上は、エアケア、ハンドケア、ホームケアが好調に推移したため、長引く残暑の影響で衣類ケア（防虫剤）とサーモケア（カイロ）の需要が10月に降にずれ込んだことによる売上減をカバーし、トータルでは増収となりました。一方、利益面は、資材価格の上昇分を製造部門のコスト削減で完全に吸収できなかったことや、広告宣伝を中心としたプロモーション費用が増加したことにより、営業利益は前年同期比12.0%減、経常利益は前年同期比13.6%減となりました。

POINT
中間純利益は、9億32百万円（前年同期比29.2%減）となりましたが、これは、当中間期において実施した社名変更に係る支出2億66百万円を特別損失に計上したこと等によるものです。

●連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	株主資本				評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計	
		資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主 資本合計	その他 有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定				評価・換算 差額等合計
平成19年3月31日残高		7,065	7,067	15,120	△ 5,152	24,100	811	△ 548	△ 242	19	7	520	24,648
中間期中の変動額	剰余金の配当			△ 283		△ 283							△ 283
	中間純利益			932		932							932
	自己株式の取得				△ 1	△ 1							△ 1
	自己株式の処分			△ 4	9	4							4
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額（純額）						△ 223	—	51	△ 172	7	△ 34	△ 199	
中間期中の変動額合計		—	—	644	7	652	△ 223	—	51	△ 172	7	△ 34	452
平成19年9月30日残高		7,065	7,067	15,764	△ 5,144	24,753	587	△ 548	△ 191	△ 152	15	486	25,101

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	前中間期 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	前期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	303	546	2,636
投資活動による キャッシュ・フロー	407	2,387	2,220
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 356	△ 4,385	△ 5,561
現金及び現金同等物に 係る換算差額の 増減額	15	2	13
現金及び現金同等物 期首残高	8,111	8,802	8,802
現金及び現金同等物 中間期末(期末)残高	8,482	7,354	8,111

●連結対象会社

連結子会社（国内4社／海外2社）
エステートレーディング株式会社
エステーオート株式会社
エステー・マイコール株式会社
エステービジネスサポート株式会社
ファミリーグループ（タイ）
ファミリーグループ（台湾）

持分法適用会社（国内1社／海外3社）
スリーエム・エステー販売株式会社
シャルダン（マレーシア）
シャルダン（フィリピン）
愛敬S.T.（韓国）

※シャルダン（マレーシア）は、清算
手続中

●単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期末 (平成19年9月30日)	前中間期末 (平成18年9月30日)	前期末 (平成19年3月31日)
資産の部			
流動資産	18,518	19,641	17,156
固定資産	13,359	13,144	13,646
有形固定資産	6,881	7,004	6,943
無形固定資産	433	425	464
投資その他の資産	6,043	5,714	6,238
資産合計	31,877	32,785	30,802
負債の部			
流動負債	7,793	8,072	7,050
固定負債	1,609	1,593	1,639
負債合計	9,403	9,666	8,690
純資産の部			
株主資本	22,420	22,850	21,842
資本金	7,065	7,065	7,065
資本剰余金	7,067	7,067	7,067
利益剰余金	13,431	13,270	12,861
自己株式	△ 5,144	△ 4,553	△ 5,152
評価・換算差額等	38	266	262
その他有価証券評価差額金	587	815	811
土地再評価差額金	△ 548	△ 548	△ 548
新株予約権	15	1	7
純資産合計	22,474	23,119	22,112
負債及び純資産合計	31,877	32,785	30,802

●単体株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

当中間期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	株主資本								評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価 差額金	土地 再評価 差額金			評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	買換資産 特別勘定 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金								利益 剰余金 合計
平成19年3月31日残高	7,065	7,067	7,067	549	29	10,260	2,022	12,861	△ 5,152	21,842	811	△ 548	262	7	22,112
買換資産特別勘定積立金の取崩					△ 0		0								
剰余金の配当						△ 283	△ 283			△ 283					△ 283
中間純利益							858	858		858					858
自己株式の取得									△ 1	△ 1					△ 1
自己株式の処分							△ 4	△ 4	9	4					4
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額（純額）											△ 223		△ 223	7	△ 216
中間期中の変動額合計					△ 0		570	569	7	577	△ 223		△ 223	7	361
平成19年9月30日残高	7,065	7,067	7,067	549	29	10,260	2,592	13,431	△ 5,144	22,420	587	△ 548	38	15	22,474

●単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当中間期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前中間期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	前期 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
売上高	22,037	21,398	43,201
売上原価	12,336	11,714	25,232
売上総利益	9,700	9,684	17,969
販売費及び一般管理費	7,871	7,753	15,621
営業利益	1,828	1,931	2,347
営業外収益	392	376	735
営業外費用	450	397	886
経常利益	1,770	1,909	2,196
特別利益	0	6	9
特別損失	285	29	50
税引前中間（当期）純利益	1,485	1,886	2,155
法人税、住民税及び事業税	591	765	868
法人税等調整額	36	△ 22	△ 24
中間（当期）純利益	858	1,143	1,310

新製品紹介

●エアウォッシュ トイレCUBE

社名変更後の第一弾の新製品として発売された「エアウォッシュ トイレCUBE」は、コンパクトなキューブ型で、トイレに置いておいても気にならないシンプルな消臭芳香剤。トイレ空間に美学とセンスを追求したこれまでにない商品で、新社名と同時に掲げた約束「こちよさへの新工夫」をお客様に提供します。

独自の技術で開発された“においセンサーゼリー”によって、トイレの空間や壁の気になるニオイをしっかり消臭し、ほのかに香りが漂って空気をリフレッシュ、トイレをこちよ空間にします。



●セルフケア 立体着圧ソックス

新生エステーとして、これまでにない新たな領域で商品化を実現した「セルフケア 立体着圧ソックス」。美容と健康をサポートする女性用着圧ソックスです。4段階の部位別着圧設計と足裏に凹凸編み加工がなされ、履きだけで足の引き締めと竹踏み感覚を実感できます。ニオイを抑える備長炭特殊繊維を採用した〈備長炭タイプ〉と女性に人気の高い〈ゲルマニウムタイプ〉の2タイプを用意しました。

着圧ソックスやストッキングの市場規模は、毎年拡大しており、今年は、昨年の1.2倍の約120億円のマーケットが見込まれています。今後もさらなる成長が期待されるカテゴリーです。



●パワーズ ノズルウォッシュ

「パワーズ ノズルウォッシュ」は、温水洗浄便座のノズルやノズル格納口の汚れを洗浄するノズル専用クリーナーです。現在、温水洗浄便座は約60%の家庭に設置されており、使用者の約90%の人がノズルの汚れを気にしていることが分かりました。掃除をする上で、“細かくて掃除しにくい”、“残った洗剤が肌に悪くないか”といった不便さや不安を抱いている消費者の声に応じて開発された商品です。中性タイプの成分で、肌にもやさしく安心して使用できます。



●サーモセラ

「サーモセラ」はジェルの保水剤に“ヒアルロン酸”を配合した肌にやさしい医療用温熱ジェルシートです。素肌に直接貼り、腰痛や肩こり、神経痛などを温めて和らげます。肌にこちよい40℃前後の快適温度が、5時間以上にわたり患部を温めることで、血行をよくしたり、疲労回復や神経痛・筋肉痛の緩和などに効果を発揮します。

今秋には、肩や腰を広く包みこむ「ダブルサイズ」が新発売されました。需要が拡大している温熱機器の市場をますます活性化していきます。



トピックス

「日本かおり研究所」の空気ビジネスへの取り組み

当社は、臭気に関する調査研究又は臭気対策技術等に関して顕著な貢献があったとして、社団法人におい・かおり環境協会の平成18年度「技術賞」を受賞しました。当社が消臭芳香剤や脱臭剤などの製造、普及に努めていることや、空気をあらゆる角度から科学することを事業目的として設立した「日本かおり研究所」の活動などが評価されたものです。

日本かおり研究所は、本年10月に、独立行政法人科学技術振興機構（JST）から、「樹木精油を利用した環境汚染物質の無害化剤」についての開発、企業化を受託しました。独立行政法人森林総合研究所の有する基盤技術を利用して実証試験などを行い、薬剤の実用化を目指します。ホルムアルデヒドなどの環境汚染物質を無害化する薬剤の開発を進めていき、将来的にはこの技術を当社の商品開発だけでなく、多くの企業や様々な産業において広く活用していく考えです。



日本かおり研究所主任研究員による実験の様子

小・中学校の教育活動へのサポート

当社では、小・中学校の授業や職場体験学習など地域社会や教育をサポートする活動を行っています。

本年は、小学生の理科離れの防止や教員の理科指導力向上を目的とした、経済産業省と文部科学省の合同プロジェクト「理科実験教室プロジェクト」に参加しました。理科カリキュラム作成のほか、10月には中野区立中野本郷小学校5年生の理科授業に協力し、当社社員が除湿剤「ドライペット」に使われる塩化カルシウムを題材とした実験および解説を行いました。

また、9月には2日間にわたり新宿区立落合中学校の男子生徒1名を受け入れ、職場体験を実施しました。会社の成り立ちや事業活動について職場の実体験を通じて、働くことへの理解や知識を深めていただきました。

今後も、社会貢献活動の一環として、地域社会や学校教育に積極的に関わり、教育活動への支援に取り組んでまいります。



中野本郷小学校の授業にて1日先生として奮闘する当社社員

“2万人の鼓動 TOURSミュージカル「赤毛のアン」”

“お客様に癒しと感動をお届けする”という企業活動の一環として、1998年から全公演無料招待で主催してきたオリジナルミュージカルは、今年10年目を迎えることができました。今夏は、ミュージカルに関わるスタッフ、キャスト、そして観客といった全ての人が、同じ想いや舞台の楽しさを共有できたらという願いを込めて、“2万人の鼓動 TOURSミュージカル「赤毛のアン」”と題し、全国主要8都市で、延べ16,061人の観客を動員しました。

主人公のアン役をつとめた島谷ひとみさんや、アンの養母役の安奈淳さんをはじめとする実力派俳優たち、全国オーディションで選ばれた子供たちが、それぞれの役を熱演し、たくさんの感動とともに幕を閉じました。今後も、一人でも多くの人々に、ミュージカルの楽しさや素晴らしさを伝えてまいります。



“2万人の鼓動TOURSミュージカル「赤毛のアン」”公演の様

テレビCM「お花畑で社名変更」篇

●1カ月の放送で、新社名の認知度6割超を達成

「エステー」の新社名を消費者の方々にお伝えするため、8月1日からの1カ月間、社名変更のテレビCMを放送しました。CMでは、4月に就任した新社長小林寛三をはじめ、幹部社員や当社のCMに出演中のタレントが総出演し、お花畑でそれぞれが思い思いに新社名を陽気にお祝いしているという雰囲気仕上げました。

たった1カ月の放送にもかかわらず、社名変更についての調査で新社名の認知度は6割を超える結果となり、短い期間で最大の効果を得ることができました。また、小林新社長の「新社名！どーん!!」というセリフは大反響を呼び、新生エステーへのあたたかい応援メッセージもたくさんいただきました。

おかげさまで、CM好感度ランキングでは、4,500CM中総合5位を獲得するなど、話題性だけでなく、多くの方から好意的な支持を受けました。今後も、消費者の皆様へ信頼される企業を目指してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いたします。

エステー宣伝部ドットコム <http://www.st-sendenbu.com/>

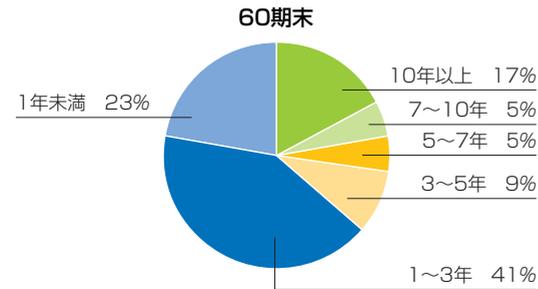


社名変更のテレビCM「お花畑で社名変更」篇

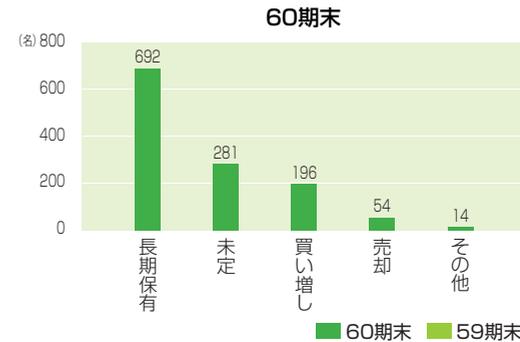
株主アンケート 集計結果

第60期「ひよこReport」でお願いいたしましたアンケートに、1,169名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。
下記にて、アンケート結果の一部をご報告させていただきます。(構成比は小数点以下第1位を四捨五入)

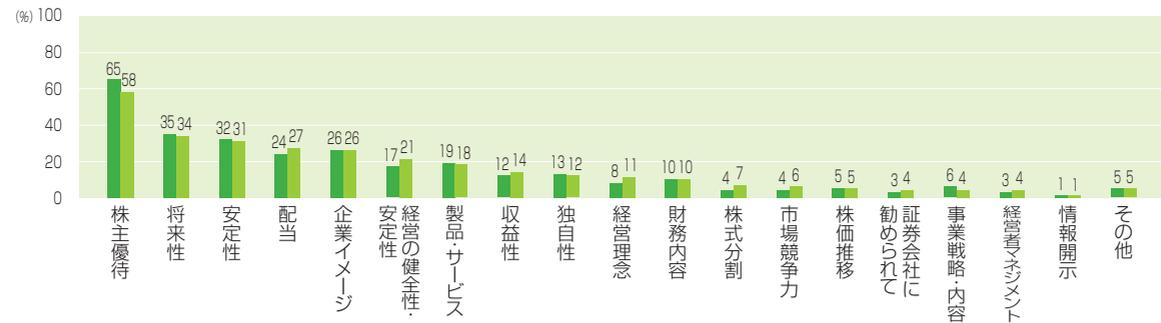
●当社株主歴別構成



●当社の株式に対する方針（複数回答）



●当社株式を購入された理由（複数回答）



皆様からの「ご意見・ご要望」の中で特に多かったキーワードは「社名変更」でした。今回の最大のトピックスである「社名変更」について、小林社長が想いを語りました。

この8月、「化学」をとって社名を「エステー株式会社」に変更しました。実に25年ぶりの変更となります。

皆様からは、たくさんのご意見や励ましのお言葉を頂戴いたしまして、大変感謝しております。私たちは、この「社名変更」を“さらなる飛躍”のための重要な『戦略』として位置づけています。“化学”にとらわれない柔軟で自由な発想をもって、いまだかつてない商品やサービスを生み出し、お客様に癒しと感動をお届けしたいと考えております。それを“約束”という形で打ち出したメッセージが「ここちよさへの新工夫」です。

私たちエステーの社員一人ひとりが、この新しい社名に込めた想いを胸に、5年・10年・20年先の成長を見据えて、新しいことにチャレンジしていく所存でございます。

新生エステーにどうぞご期待ください。



お知らせ

イベント

●個人投資家向け「日経IRフェア2007」に出展しました

8月31日、9月1日の両日、東京ビッグサイトで開催された「日経IRフェア2007」（日本経済新聞社主催）に出展いたしました。2日間で14,508名の来場者がある中、当社のブースにも、1,800名以上の個人投資家の方にお立ち寄りいただきました。

ブースでは社員が会社の概要や新製品などについて紹介し、会社説明会では、当社社長が経営方針や事業戦略などご説明させていただきました。投資家の方からは、多数の質問や関心が寄せられました。

今後も、より多くの投資家や株主の皆様へ当社への理解を深めていただけるよう、積極的なIR活動を行ってまいります。



会社説明会の様子

ホームページリニューアル

●ホームページを全面リニューアルしました

8月1日の社名変更を機に、当社のホームページを全面リニューアルしました。製品紹介、暮らしの情報、Q&Aコーナーなどこれまで以上に内容の充実を図りました。またIR情報の＜財務指標＞をグラフと表を用いて分かりやすくリニューアルし、四半期ごとに情報を更新していきます。さらには、当中間期の決算説明会も動画配信しております。

今後お客様や株主の皆様への視点に立ち、より一層内容を充実させてまいります。変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

エステーHP <http://www.st-c.co.jp/>



リニューアル後のトップページ

株主優待品

2008年3月期中間時の株主優待品は、割当基準日である9月30日時点で当社株式を1,000株以上保有いただいている株主様へ、3,000円相当の当社製品詰め合わせを送付させていただきます。なお、お届けは12月中旬を予定しております。

100株以上 1,000円相当当社製品詰め合わせ 年1回(割当基準日3月31日)
1,000株以上 3,000円相当当社製品詰め合わせ 年2回(割当基準日3月31日・9月30日)



1,000株以上株主様向け

株式の状況

(平成19年9月30日現在)

- 株式の総数
 - (ア) 発行可能株式の総数 96,817,000株
 - (イ) 発行済株式の総数 29,500,000株
 - (ウ) 単元株式数 100株
- 株主数 8,036名
- 大株主

氏名又は名称	持株数	持株比率
株式会社 シャルダン	4,674 千株	15.8 %
株式会社 T・ZONEキャピタル	3,992	13.5
日本生命保険相互会社	1,671	5.7
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託	884	3.0
鈴木 木 喬	812	2.8
有限会社 ファミル	780	2.6
株式会社 三菱東京UFJ銀行	681	2.3
鈴木 木 誠一	582	2.0
鈴木 木 明雄	485	1.6
有限会社 キャレーヌ	433	1.5

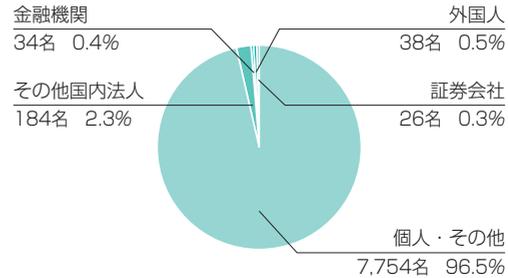
- (注) 1. 当社は自己株式3,701千株(12.5%)を有しております。
 2. 株式会社T・ZONEキャピタルは、平成19年10月10日をもって、株式会社TZCSに商号変更されました。
 3. みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託を名義人とする884千株は、株式会社みずほ銀行が保有する当社株式を退職給付信託として設定した同行の信託財産であります。

●重要な後発事象

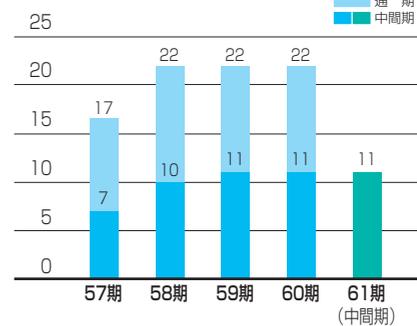
当社は、平成19年9月7日開催の取締役会におきまして、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項および当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、実施してまいりましたが、当中間期末日後に本公開買付けが終了し、自己株式を取得いたしました。

- 自己株式の取得を行った理由
経営環境の変化に対応できる機動的な資本政策の遂行、資本効率の改善および株主への利益還元を目的として、自己株式を取得いたしました。
- 取得の方法 公開買付け
- 取得した株式の種類 当社普通株式
- 取得した株式の総数 4,000,000株
- 取得価額の総額 5,960,000千円
- 取得の時期等
買付け等の期間 平成19年9月10日から平成19年10月10日まで
決済の開始日 平成19年10月17日

●所有者別分布状況



●配当金の推移 (単位:円)



会社の概要

(平成19年9月30日現在)

- 設立 昭和23年8月31日
- 資本金 7,065,500千円
- 従業員数
 - 従業員 ※臨時従業員
 - 連結 613名 146名
 - 単体 362名 71名
 ※平均人員、パートタイマー・嘱託を含む

事業所

(平成19年9月30日現在)

- 本社 〒161-8540
東京都新宿区下落合1-4-10
TEL. 03-5906-0731 (代表)
- 支店 札幌、仙台、関東(埼玉)、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
- 営業所 横浜、金沢、高松
- 工場 福島、埼玉、九州(福岡)
- R&Dセンター 東京

役員一覧

(平成19年11月30日現在)

取締役		
取締役会会長 (指名委員)	鈴木 喬	
取締役(社外) (指名委員・監査委員・報酬委員)	梶原 保	
取締役(社外) (指名委員・報酬委員)	野呂 正則	
取締役(社外) (指名委員・監査委員)	高後 元彦	
取締役(社外) (監査委員)	小門 裕幸	
取締役(社外) (監査委員)	前原 輝幸	
取締役 (指名委員)	小林 寛三	
取締役 (報酬委員)	嶋田 洋秀	

執行役		
代表執行役社長	小林 寛三	
常務執行役 営業本部長	影浦 憲章	
常務執行役 コーポレートスタッフ部門担当 兼 国際ビジネス担当	嶋田 洋秀	
執行役 大阪支店長	城ノ戸 真一	
執行役 東京支店長	加藤 孝彦	
執行役 マーケティング部門担当	北原 雅美	
執行役 グループ戦略担当	鈴木 喬	

「単元未満株式の買取制度」のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)をご所有の株主様は、当社に対して買取請求をすることができます。具体的な買取請求手続きにつきましては、当社株主名簿管理人へご照会ください。(株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引の証券会社へご照会ください。)